



2・3月は来年度に向けて、意識を高めることができました！

## 児童の様子は？～2・3月編～

### ○ブックトークタイム



子どもたちの語彙力や表現力を伸ばすため、府中小では、毎月ブックトークをしています。おすすめの本のあらすじや山場などの紹介を聞いて、読みたくなる本がどんどん増えています。



聞いていて面白そうな本だということが分かりました。特に心に残った言葉は何ですか？

### ○校風を受け継いで



5年生の今の時期にしたら良いことはありますか？

総合的な学習の時間では、6年生にリーダーとして大変だったことや成長したことなどをインタビューしました。あらかじめ質問を用意していましたが、6年生の話を聞いて、新しい質問を考えて、聞くことができました。



委員会で、みんなの意見をまとめるために工夫したことは何ですか？

### ○校長先生のお話

#### ～わたしがわたしになる学校を創るのは誰？～



校長先生から、5年生に向けて、校風を受け継ぐために必要なことを話して頂きました。

「校風とは？」「府中小学校の基本理念、気風とは？」  
「受け継ぐと引き継ぐの違いとは？」  
「リーダーの条件とは」など、子どもたちが今まで意識していなかったことなどを聞き、来年度リーダーになる子どもたちにとって有意義な時間となりました。

## 府中小リーダーの条件①

### 自分の強みを知って自分の強みを発揮する。

校長先生は、4つの国立博物館、「東京国立博物館・京都国立博物館・九州国立博物館・奈良国立博物館」を例に強みについて説明されました。それぞれ同じ国立博物館ですが、歴史が異なるため、貯蔵されている資料も異なっています。東京国立博物館は、一番古く、150年の歴史があります。日本の人文系の総合的な博物館として、日本を中心に、広くアジア諸地域にわたる文化財について収集、保存等を行っており、美術系博物館として位置付けられています。対照的に九州国立博物館は、一番新しい国立博物館です。中でも日本文化の形成をアジア史的な視点から捉えていることに優れており、他の3つの国立博物館が美術系博物館であるのに対し、歴史系博物館として位置付けられています。

このような説明を通して、まずは自分の強みを知ることが大切だと子どもたちは気付きました。

## 府中小リーダーの条件②

### いいリーダーは、みんなを巻き込むことができる人。

子どもたちの中で、リーダーのイメージは、「賢い、優しい、責任感がある・・・」など多くの考えが出てきました。しかし、校長先生の「一人でできることは限られる。いいリーダーは、みんなを巻き込むことができる人」という話を聞いて、「確かに」と頷く子どもが多く、来年度リーダーになる意欲を高めることができました。

そこで、これまで学んだことを生かし、リーダーとしての力をつけるために、「修学旅行をプロデュース」していきます。具体的には、修学旅行2日目のコースを、3つの中から1つ選んで「どんなコースがみんなにとって最高のコースになるのか」を4月にプレゼンします。この活動を通して、子どもたちに付けたい力は5つです。

- ① **この一年間の学びを生かして、誰と一緒にプレゼンするか考える。**
- ② **自分たちで学習計画を立て、自分たちで提案の準備をする。**
- ③ **そのための時間は自分たちでつくる。**
- ④ **グループでのめもめごとは自分たちで解決する。**
- ⑤ **保護者に頼らない。**

この5つの力が身につくように、担任一同、見守っていきたいと思います。子どもたちによる4月のプレゼン、修学旅行2日目の行き先がどこになるのか楽しみです。

休憩時間は、学級を越えた各グループで時間を決めて集まり、スライド作りに必死です。

僕は、雨の日のことを考えるよ！

私は・・・を調べたよ！

スライド3枚目は・・・の方がいいんじゃない？

